

武蔵国分寺跡資料館だより

Musashi Kokubunji Temple Remains Museum Newsletter

編集・発行・印刷

見る／学ぶ／訪ねる／
武蔵国分寺跡資料館

Musashi Kokubunji Temple Remains Museum

【住所】 〒185-0023 東京都国分寺市西元町1-13-10
 【電話】 042-323-4103 【FAX】 042-300-0091
 【E-mail】 museum@city.kokubunji.tokyo.jp
 【HPアドレス】
<http://www.city.kokubunji.tokyo.jp/shisetsu/1733/009819.html>

2012.10
第12号



武蔵国分寺跡資料館 平成24年度秋季展示



主催 国分寺市観光協会 後援 国分寺市 審査員 新海 栄一（写真家） 小林 定之（写真家） 国分寺市観光協会役員

こくぶんじ写真コンクール

協賛 国分寺市商工会 東京むさし農業協同組合 国分寺マルイ 西武信用金庫 多摩信用金庫 JR 東京西駅ビル開発株式会社



カメラのレンズを通して素敵な国分寺を発見し、国分寺の良さを広く知ってもらうため、国分寺市観光協会の主催で、「こくぶんじ写真コンクール」が開催され、第33回は社会人部門 194 点、小中高生部門 10 点の力作が寄せられました。武蔵国分寺跡資料館では、国分寺市観光協会のご協力のもと、今回入賞した全作品 40 点を巡回展として紹介いたします。皆様に作品を通じて国分寺市の魅力をより多く感じていただければ幸いです。

平成 24 年 10 月 20 日 武蔵国分寺跡資料館

国分寺市長賞
「手からこぼれる」 高澤 貞夫



国分寺市議会議長賞
「明日へジャンプ」 中山 嘉明



国分寺市観光協会会長賞
「水面の秋景」 浅見 智宏

入賞作品

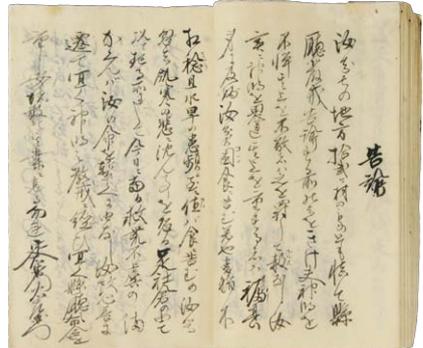
国分寺市商工会会長賞
「サンバ」 重森 寿子





御門訴事件告諭 (高札)

〈明治3年正月〉 個人蔵(国分寺市教育委員会寄託)
 明治3年1月10日に発生した御門訴事件を受けて、事件を起こした12新田へ下された高札のうちの1枚です。江戸時代には重要な法令を板に書き付け村内へ常時掲示していました。



御門訴事件告諭 (写)

〈明治3年正月〉 個人蔵(国分寺市教育委員会寄託)
 重要な通知などは村むらを回覧します。この史料は品川県下の御門訴事件に関わっていない村で書き写されたものです。実際の高札と文字が異なっているところがあります。

御門訴事件とは、明治3年(1870)正月に起きた日本橋浜町の品川県庁の門前で武蔵野新田の村々が門訴を行なった農民闘争です。発端は、事件の起こる前年の明治2年、品川県より飢饉に備えるために県内から一定の米または金を集めて県が管理する貯穀制度「社倉制度」が達せられたことにはじまります。

制度自体は、窮民救済のためでしたが、その負担は過酷なもので、布達された村々のうち上保谷新田・田無新田(西東京市内)、柳窪新田(東久留米市内)、関前新田(武蔵野市内)、梶野新田・関野新田(小金井市内)、鈴木新田・大沼田新田・野中新田と右衛門組・野中新田善左衛門組(小平市内)、野中新田六左衛門組・戸倉新田・内藤新田(国分寺市内)の13新田が、数年来の凶作による食糧不足や、肥料の値上がり、収穫量の低下、徳川幕府時代は「養料金」制度による武蔵野新田の保護があったことなどの5点を理由に社倉免除の嘆願書を品川県へ提出しました。

交渉のすえ、減額して県へ納めることに一旦まとまりましたが、県上層部の意向によって約束は破棄され、さらに村役人を拘留するという県側の強硬手段に対して農民700～800名が決起し、品川県庁まで門訴に向かう事態に発展します。待ち伏せていた県の軍隊によって多くの人々は進行を阻止されましたが、一部の人達は迂回して品川県庁へ到着、門前に集まった農民と県の間で衝突が起き、県の役人が1名死亡、1名負傷、2名隅田川へ転落という事態となり、農民側は51名が捕えられます。明治3年正月10日の夜中のことでした。

事件後、首謀者と見られた野中新田と右衛門組名主定右衛門など5名が取調中に牢内で死亡、関前新田名主見習庄司は逃亡先で死亡し、逃走者の捜索では家族が拷問にあうなど品川県の取調は過酷を極めました。

多くの犠牲を出した社倉制度は、明治4年の県知事の転出や明治5年の廃藩置県によって品川県が廃されたことなどにより廃止されました。

- | | | |
|--|--|--|
| <p>展示資料一覧</p> <p>史料1 社倉方法写(雛形)〈年不詳〉</p> <p>史料2 御門訴事件告諭(高札)〈明治3年正月〉</p> | <p>史料3 御門訴事件告諭(写)〈明治3年正月〉</p> <p>史料4 社倉一件済口御請証文(写)〈明治4年2月27日〉</p> <p>史料5 村役人跡役人撰二付願書〈明治4年3月〉</p> | <p>史料6 社倉一件入用帳〈明治4年8月〉</p> <p>史料7 御門訴事件記念碑(碑文案)〈年不詳〉</p> |
|--|--|--|

フィルムカメラ 史跡武蔵国分寺跡などの発掘調査や出土遺物の資料撮影に使用していたフィルムカメラ5点を展示します。



● 4×5in 判ビューカメラ
 ボディメーカー：酒井特殊カメラ製作所
 モデル：TOYO-VIEW
 フィルム：4×5inch フィルム
 販売開始年：1969年(昭和44年)
 レンズメーカー：FUJII PHOTO OPTICAL
 モデル：FUJINON
 レンズF値：F5.6
 レンズ焦点距離：150mm

スタジオや室内で撮影するためのビューカメラで、商品や遺物(土器や瓦など)の撮影を行う際に使用します。「アオリ」というレンズの光軸をフィルムを中心から上下左右に平行移動させたり、傾けたりする機能がついていることが特徴です。

- 展示資料一覧
- 1 酒井特殊カメラ製作所 TOYO-VIEW
 - 2 Mamiya RB67 プロエッジカメラ
 - 3 酒井特殊カメラ製作所 TOYO-FIELD45A
 - 4 Nikon FM2
 - 5 Nikon Nikomat FTn (接写装置 Nikon BELLOWS PB-6)

(秋季展示担当学芸員 増井有真)

Events

史跡武蔵国分寺跡周辺の現地説明



ガイドボランティアが史跡武蔵国分寺跡周辺で現地説明します。

【日 時】2012年11月2日(金) 各20分程度
11:00～14:50の間で適宜行います。
※当日は直接解説場所へお越しください。

【解説場所】

①武蔵国分僧寺金堂跡②武蔵国分僧寺七重塔跡③国分寺楼門④真姿の池湧水群

【参加費】無料

【問合せ先】ふるさと文化財課 042-300-0073

※詳細は国分寺市報[10/15]・市ホームページでお知らせします。

歴史講演会「ここまでわかってきた国分寺」



史跡武蔵国分寺跡を中心に、関東の古代寺院について発掘調査の成果を交え、講演会を開催します。

【講 師】須田 勉さん(国士館大学文学部教授)

古代の仏教史に関する研究、古代東国の寺院跡の発掘調査に携わり活躍する。主な著書「古代東国仏教の中心寺院・下野薬師寺」(新泉社)「国分寺の創建・思想・制度編」(吉川弘文館)「聖武天皇と国分寺」(雄山閣出版)「ここまでわかってきた国分寺」(磐田市教育委員会)など。

【日 時】2012年11月11日(日)
14:00～16:00(開場13時)

【定 員】100名

【申込方法】電話 042-300-0073、FAX 042-300-0091、E-メール: bunkazai@city.kokubunji.tokyo.jp、または直接ふるさと文化財課へ(先着順)。

【受付期間】10月16日(火)～11月9日(金)

※定員となり次第メ切らせていただきます。

【申 込 先】ふるさと文化財課(国分寺市西元町1-13-10)

【会 場】本多公民館(国分寺市本多1-7-1)
(JR・西武鉄道国分寺駅北口から徒歩約8分)

【費 用】無料

歩いていく市外文化財めぐり



武蔵国分寺跡より府中市の武蔵府中熊野神社古墳や武蔵国府跡などを徒歩でめぐります。

【日 時】2012年11月23日(金・祝)
9:00～16:00(予定)※小雨決行

【集合場所】武蔵国分寺跡僧寺金堂跡

【解散場所】府中市武蔵国府跡

【見学先】武蔵国分寺参道口跡・武蔵府中熊野神社古墳・高安寺・府中高札場・府中市ふるさと府中歴史館・武蔵国府跡(国衙地区)など

【定 員】50名

【募集期間】11月2日(金)～11月18日(日)

【申込方法】電話 042-300-0073、FAX 042-300-0091、E-メール: bunkazai@city.kokubunji.tokyo.jp、または直接ふるさと文化財課へ(先着順)。

【参加費】100円

【持ち物】昼食

※歩きやすい靴・服装でご参加ください。

【問合せ先】ふるさと文化財課 042-300-0073

※詳細は国分寺市報[11/1]・市ホームページでお知らせします。

文化の日 民俗資料室を特別開館



民俗資料室は4月から入館方法が事前申込制に変わっていますが、文化の日は一日特別開館します。当日は、敷地屋外(雨天中止)にも、民具を展示・公開します。普段は見ることしかできない民具を学芸員の説明を聞きながら実際に触ってみませんか。

【日 時】2012年11月3日(金・祝)

10:00～16:00(入館は15:45分まで)

※当日は直接資料室(国分寺市本多5-24-11)へ

【参加費】無料

※駐車場はありません。公共交通機関等をご利用ください

【問合せ先】ふるさと文化財課 042-300-0073

NEWS

無料公開日お知らせ

2012年11月2日(金)・3日(土・祝)・4日(日)は、おたかの道湧水園の無料公開日です。

東京都文化財ウィーク2012のお知らせ

○都内文化財一斉公開事業

期間:2012年10月27日(土)～11月4日(日)

○区市町村等文化財関連企画事業

期間:2012年10月1日(月)～11月30日(金)

来館者数

2009年10月18日～2012年9月末日

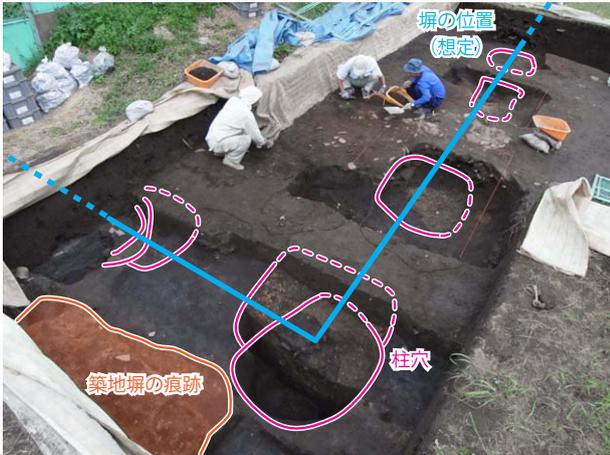
来館者数累計 47,320名

多くのご来館ありがとうございました

月	来館者数	開館日数
7	861	26
8	591	27
9	1,247	26
計	2,699	79

- 来館者数
=おたかの道湧水園の入園者数
- 来館者数()内
=無料公開日の入園者数
- 開館日数()内
=無料公開日の日数

【7月～9月の学校見学】〔学年〕、(人数)、中=中学生、高=高校生、大=大学生
<市内> 第四小学校(小3)(137)、第六小学校(小6)(119)
<市外> 白梅学園大学子ども学部(大4)(27)、東京経済大学(大)(16)、多賀城市東豊中学校(中)(22)、立川女子高等学校(高3)(28)、



①中枢部区画施設北西隅 堀遺構検出状況(北西から)



②中枢部区画施設西辺 溝状遺構検出状況(南東から)

平成 24 年度は、武蔵国分寺の中枢部^{ちゆうすうぶ}を区画していた堀と溝の事前遺構確認調査を行っています。西僧坊に近い伽藍地^{がらんち}北西の調査区では、掘立柱堀の柱穴や堀の外側をめぐる大小の溝が確認されました。

掘立柱堀は、柱を据えるための柱穴が重なっている状況がいくつかの場所で確認され、柱が立て直されたことがわかりました。また付近からは粘土混じりの土が確認され、掘立柱堀の後に建てられた築地堀の痕跡の可能性があります。

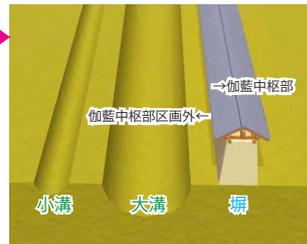
堀の外側に並行して設けられた溝は、幅の広い大溝とさらにその外側を巡る小さい溝があり、伽藍地南辺の中門東側で確認された状況と同じものと想定されます。



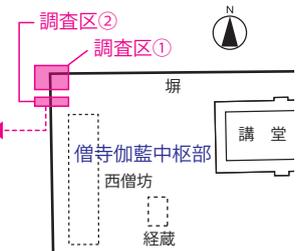
掘立柱堀のイメージ



築地堀のイメージ



堀と大溝・小溝のイメージ



武蔵国分寺跡資料館ご利用案内



交通のご案内

【電車】JR国分寺駅下車／徒歩約20分 JR西国分寺駅下車／徒歩約15分

【バス】国分寺市循環バス「ぶんバス」日吉町ルート「泉町一丁目」下車／徒歩約8分
 ◎国分寺駅南口より「京王バス」系統番号く83・く85乗車「泉町一丁目」下車／徒歩約8分

■ 開館時間

午前9時～午後5時（入館は午後4時45分まで）

■ 休館日

毎週月曜日（祝日・振替休日の場合はその翌日）
 年末年始（12月29日から1月3日まで）
 ※展示替えなどで臨時休館することがあります。

■ 入園料

資料館に入館するには「おたかの道湧水園」への入園料が必要になります。（入園券は史跡の駅で販売）
 一般……………100円（年間パスポート1000円）
 中学生以下……無料

【入園料の減免規則があります】

- 学校の教育活動で生徒（中学生を除く）、学生及び引率の教職員が入園するとき〔事前（7日前まで）に減免申請書の提出が必要です。〕
 - 身体障害者及びその介護者が入園するとき〔券券窓口の史跡の駅で身体障害者手帳等の提示が必要です。〕
 - その他教育長が特別の理由があると認めるとき〔事前（7日前まで）に減免申請書の提出が必要です。〕
- ※減免申請書は、国分寺市のホームページからダウンロードできます。



モバイルホームページQRコード